

# 国労東北自動車支部

発 責 北山修司  
編 責 教 宣 部  
NO,91  
2016.5.6

国労加入  
で職場を  
変えよう

# 賃金改善交渉終盤へ

## 会社＝ベアはない方向だ。

## 組合＝現場の頑張りに誠意を！

4月5日の「2016年度賃金改善の申し入れ」仙地申第17号の第1回団体交渉を含め4回の交渉を行ってきましたが、会社は当初、決算状況の中々出さず「厳しい状況しか申し上げられない。」の一点張りで誠意ある回答が示されていません。

4回目の交渉では「格差は是正したい。」旨の発言はあったもののベアについては、「無い方向だ。」と考え方が示され、現場の頑張りに応えようという姿勢が改めて問われています。

(以下、交渉内容要旨)

**組合**・福島、宮城の職場の契約社員は月額6000円。それ以外のところは5940円と格差がついている。今後、なくす方向なのか、拡大していく方向なのか。運転手は不足しているし整備士についても福島、仙台、盛岡と募集している。差があるのかと思う。

**会社**・苦勞の度合いと言ったら変だが、そういった意味合いもある。

**組合**・長期の1ヶ月助勤で契約社員が青森から仙台に来ている。その人たちは8040円のままで。仙台的の契約社員は8100円。同じ箇所勤務してアンバランスがある。矛盾ではないか。

**会社**・金額は言えないがよい方向に改めることを検討している。

**組合**・有額回答はあるのか。同じ東日本グループにいる関東は、一昨年500円、昨年700円上げて

いるが、同じバスにいながら差が広がっている。働いている気分としては、士気が上がらない。今年の春闘は中小が上げている。契約社員等非正規部分も上げている。

**会社**・厳しいところもあるのではないか。1月のスキーツアーバス事故の関係は痛い。2月、3月とガタガタとなっている。

**組合**・軽井沢事故はこのバス会社も同じ。インバウンドということを利用して増もある。暗い話ばかりではない。具体的な数字を挙げてもらわないと議論にならない。

**会社**・営業収益は59億8千5百万円ぐらい。前年比でかろうじて1千万円ぐらい儲かっている。営業利益は5億9千万円いっていない。経常利益は、見込みとほぼ同じで6億8千万円に近い。人件費は26億円こえている。微々たる

増収と減益だ。

**組合**・減益と言っても経常利益はそんなに変わっていないし、営業収入に対する人件費の割合も変わっていない。いずれ軽井沢の事故以来、問い合わせが増えており、JRブランドということでもJRバスが見直されている。幸い、人身に絡むような大きい事故がないのは家族を含め努力しているのが現状。ベースアップがあるのとないのではインパクトが違う。官交労組と話をしても小矢部川以降厳しいと言っている。

**会社**・みんな一生懸命やってもらっているのは十分わかっているがこれからのことも考えていかなければならない。ベアはないが定期昇給は行うという方向だ。定期昇給で大体、年間5千万円ぐらい増える。

**組合**・運転手当の格差是正についてはどうか。

**会社**・厳しい状況なんで現時点ではできない。夏季手当について、月数はこれまで通りだ。プラスアルファはまだ。

**組合**・ベアの考え方が示されたが夏季手当に考慮するのか。

**会社**・したいが約束はできない。

**組合**・経協についてはコンプライアンス違反である。他社から笑われる。開催を求めていく。以上